

## 第 1 回検討協議会での主なご意見やご質問等について（欠席委員からのご意見含む）

主なご意見やご質問等	事務局からの回答
①検討にあたり重要視する点は何ですか。	四谷地区における区立小学校の教育環境の維持向上を図るために、四谷小の児童数の緩和と近隣の小学校の児童数を増やしていきたいと考えます。
②小学校の通学距離の目安はありますか。	小学校はおおむね1キロ以内が適正と考えています。
③通学区域を見直した場合、見直し対象の地域への配慮が必要ではないか。	学区域を変更しても、変更前の小学校を選択できるような緩和措置を検討したいと考えます。
④小学校の学級数はどのくらいが適正と考えていますか。	<p>小学校は12学級から18学級を適正規模とします。単学級ではなく、クラス替えのできる規模を目指します（平成24年4月「新宿区立小・中学校の通学区域、学校選択制度、適正規模及び適正配置の基本方針」より）。</p> <p>なお、四谷小については、現在、増築校舎の建設を進めていることから、適正規模を上回る学級数となるものです。</p>
⑤通学路の安全面への配慮が必要である。	必要に応じて学童擁護員を通学路に配置し、学区域が変更になった場合においても、登下校時の安全を確保していきます。
⑥児童数の推計の考え方を教えてほしい。	<p>短期的な推計では現在把握している住民基本台帳登録人口と、過去の就学率等を加味して令和11年度までの児童数を予測しています。それ以降の中長期的な推計では、庁内の自治創造研究所が国勢調査に基づき推計している新宿区将来人口推計を参考にしています。</p> <p>なお、児童数の推計には大規模マンションや中規模マンションの影響や人口の増加率も反映しています。</p> <p>また学級数の算定では35人学級を基本に計算しています。</p>

⑦当事者への説明と意見聴取が必要ではないか。	第2回の検討協議会后に地域説明会を開催し、幅広くご説明の上、ご意見を伺っていきたく考えています。
⑧通学区域を変更しても、そもそも花園小の児童数が少ないことで、子どもや保護者が入学を敬遠してしまうのではないか。	<p>花園小での様々な活動を通して、学校の良さを発信できればと考えています。</p> <p>具体的には、令和5年度からは新宿区の教育課題研究校として、「基礎体力の向上」をテーマとした教育活動を実践しています。また、クリアソン新宿の協力による「走り方教室」を開催するなど、地域との連携による取組を実施しています。</p>
⑨花園小の校庭、園庭における安全面の確保について	正面玄関での警備員や、スクールパークの見守り員を常時1人配置し、安全管理を徹底しています。